

日本医療教育財団(厚生労働大臣許可)主催 メディカルクラーク(医科) 合格者の声

私はファッション、フード、事務など、幅広い分野が学べるところに魅力を感じ、コミュニティ生活学科に入学しました。

医療事務の授業では積極的に質問したり、仲間とも教え合いながらがんばりました。問題が難しすぎて苦しんだこともありましたが、後田先生と仲間のサポートがあり、自信をもって試験に臨むことができました。

以前は美容部員になりたいと思っていましたが、この資格を生かして医療関係の仕事もいいなと思い始めました。後期ではワープロ検定と表計算検定も取得しようと思って、ワープロ検定講座と表計算検定講座の授業を履修しています。

山路 夏佑 さん(1年/広島県瀬戸内高等学校出身)

私は将来の夢がはっきりと決まっていなくて、フードやブライダル、メイクなど幅広い分野を学べることに魅力を感じてコミュニティ生活学科に入りました。

そんな中で医療事務の資格は入学前から取得をめざしていました。医療事務の仕事に興味があり、取得のために勉強すれば知識も増えて自信のつながると思ったからです。夏休みに集中講義があつて実家に帰る日が少なくなったけど、がんばってよかったです。

卒業後は地元に戻って医療事務の仕事に就きたいと思っています。

石田 千晶 さん(1年/島根県益田翔陽高等学校出身)

コミュニティ生活学科を選んだのはたくさんの資格を取得できるからです。また好きなこと、やりたいことを選んで授業を受けられるので、自分に合っていると思います。

夏休みにアルバイトをたくさん入れてしまい、医療事務の勉強との両立は大変でしたが、後田先生がわからないところを一緒に解いてくださったり、わかりやすく教えてくださったので合格することができました。

私の夢は美容部員になることですが、将来地元に戻ることも考えています。私の地元は田舎なので、医療事務の資格はその時に役立つと思います。

清住 咲希 さん(1年/広島県立世羅高等学校出身)

将来自分が何をしたいかわからず進路で悩んでいた時に、母がコミュニティ生活学科を見つけてくれました。様々な授業があり、ここなら自分が本当にやりたいことが見つけられると思いました。

医療事務の授業は、夏休みも含めて一日も休みませんでした。後田先生の指導はとてもわかりやすく、聞き取りやすく、計画的でした。

卒業後はアパレル定員をめざしていますが、医療事務の資格と取得できたことで事務職にも興味が出てきました、何より自信になりました。

有田 萌々果 さん(1年/広島県立千代田高等学校出身)

将来役立つ資格と検定が取れ、視野が広がる学びができることに魅力を感じてコミュニティ生活学科に入学しました。

私は地元に戻って医療事務の仕事に就きたいと思っているので、この資格の取得が第1目標でした。今回一発で合格できたことはすごく自信になりました。

これからできるだけ多くの授業を取って視野を広げ、パソコン、簿記、秘書などの検定も取得して、地元で役立つ人材になりたいと思っています。

内藤 真琴 さん(1年/島根県立飯南高等学校出身)